

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄
 No. 152

【様式 2】

エントリー学校名： 沖縄県立 南部農林高等学校

活動名：
 農で学び、農で支える
 農業教育で育む「生徒の夢実現」

解決すべき課題： 社会に貢献できる産業人の育成を目指した組織的な取り組み
 ・生徒指導や配慮が必要な生徒が多い→自己有用感と基礎学力の定着
 ・専門高校の特色を活かした取り組みが単発的→目指す生徒像の共通理解と、計画的な指導体制の確立

目標・方針： 農業に関する学習や学校生活での様々な体験を通して、夢を実現する力を育てる
 ① 目指す生徒像を明確にし、何をどのように学ぶかを学校全体で共通理解をする。
 ② 学習規範や社会性を身につけさせるとともに、基礎学力（義務教育段階の学習内容）の定着にむけた取り組みを行う。
 ③ キャリア教育の視点をもって特別活動（学校行事や HR 活動等）や各学科での取り組みを行う。

活動内容：
 ① 学校内の各棟（本校は農業高校であるため、敷地が広く、実習棟の数が多い）に、「育成したい生徒像」を掲示し、学校全体で共通理解出来るようにした。（写真①）
 ② 基礎基本の学習内容と学習規範の確立・定着させる事を目的に、1 年生の教育課程に学校設定科目「ベーシック」を開設。（1 クラスを農業科と普通科 3 名で受け持つ TT 授業）
 ③ キャリア教育委員会を中心に生徒の実態や学校行事等にあわせ、本校版キャリアパスポート「○○マイレージノート」（○○には生徒の名前や愛称を記入）を作成。特別活動や各学科での取り組みを「キャリアパスポート」を用いて振り返りをおこなう。

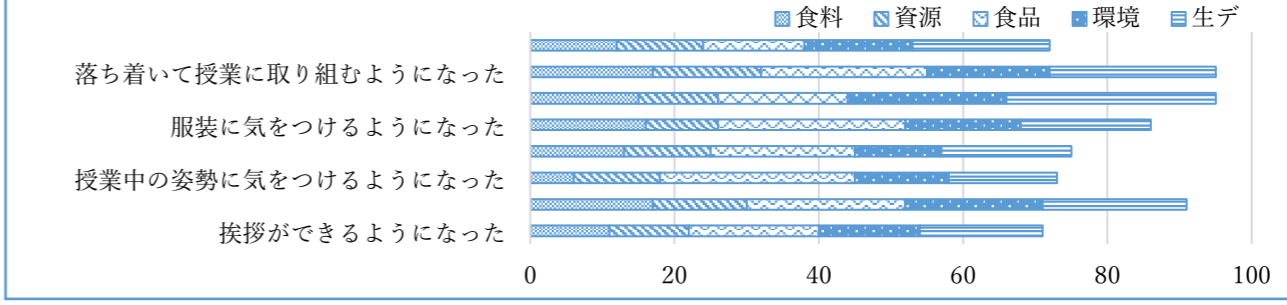
活動の成果：
 ① 授業や生徒指導等で、「どんな力をつけてほしいのか」を確認している場面が見られるようになり、「なぜ、この活動をするのか（学習をするのか）」を意識した教育活動へつながった。また、外部から来られる方の目に触れることで、本校の教育内容の理解の機会となった。
 ② 科目「ベーシック」では、令和元年度生徒アンケートより、授業を受ける際のルールやマナーが身につく、授業に参加するようになったことがうかがえる。（グラフ①及び写真②）また、学科職員（農業科）と普通科で担当したため、生徒理解や授業の持ち方など協力出来る場面が増えた。
 ③ 南農版キャリアパスポート「マイレージノート」の活用により、学校行事や学科行事の振り返り等が生徒・職員間で共有が出来るようになった。さらに、キャリア教育の視点をもった学科行事も企画されるようになった。（写真③及び④）

アピールポイント（アイデアや工夫）：
 ① 校内のどこにいても、「育成したい生徒像」が目にとまり、確認できる。
 ② 学科独自の取り組みを大切にしながらも、各科共通の取り組みがあり、学校として組織的な活動となる。
 ③ 普通科と連携することで、情報の共有や協力体制が進む。

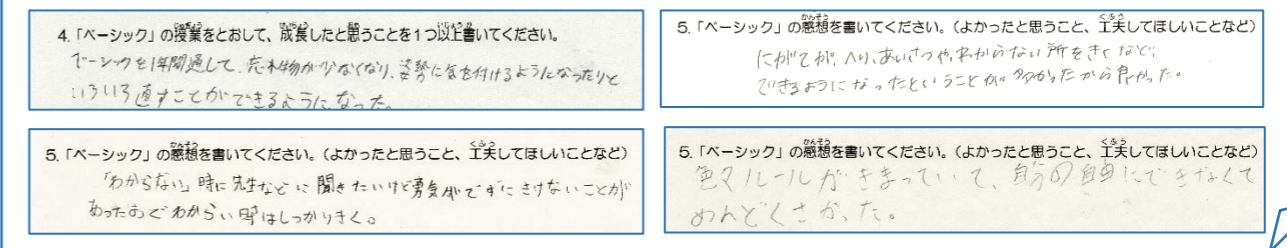
写真① 各棟にある「育成したい生徒像」



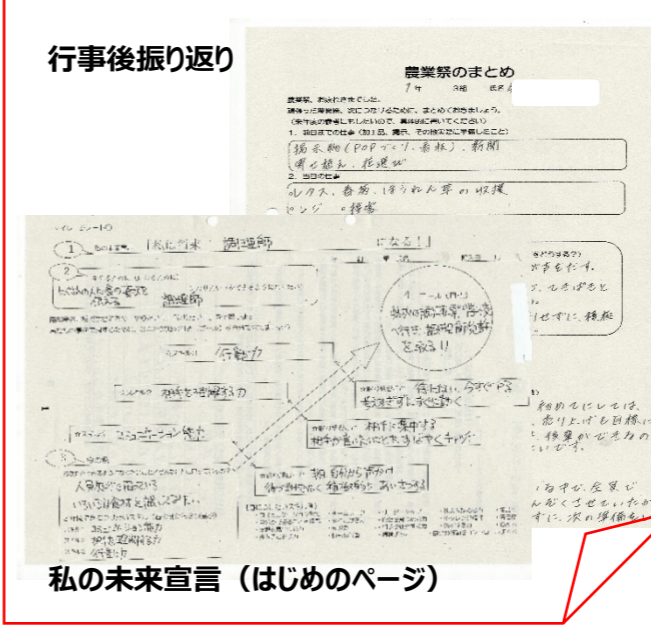
グラフ① ベーシックを通して身についたこと



写真② R1 年度ベーシック事後アンケート（生徒感想より）



写真③ マイレージノート記入例



写真④ 食品加工科「まじ語り」

